

ここでは、TransEra HTBasic for Windows Development Version Ver. 10.0 の GUI について、補足情報として記述します。

1. HTBasic 立ち上げ時の画面

RMB(Rocky Mountain Basic)の流れをくむ HTBasic/HPBASIC では、最初に初期設定を行うプログラム「AUTOST」が実行されます。

HTBasic の実行は、インストール時にデスクトップ上に設定されるアイコンまたはインストール先のフォルダーにある HTBwin.exe で行われます。

図 1. は立ち上げ時の HTBasic のアプリケーション Window です。

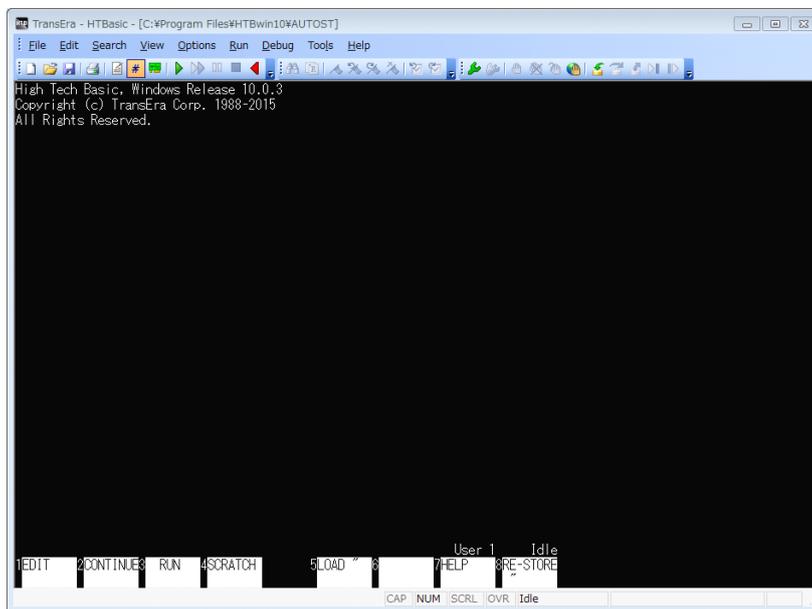


図 1.

2. HTBasic のアプリケーション Window とプログラム Window

プログラム Window を含まないアプリケーション Window は図.2 のようになります。

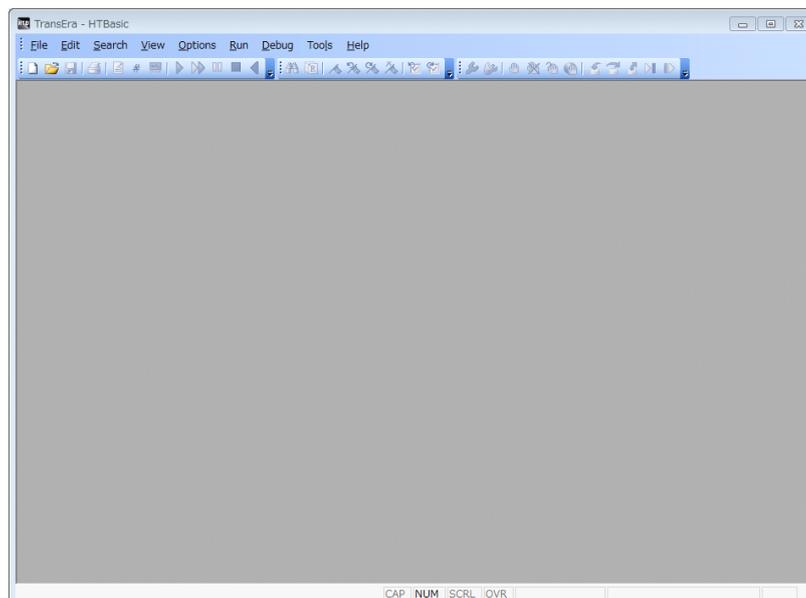
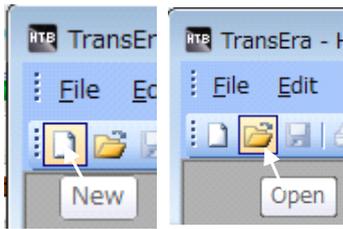


図 2.



この状態の Window では、新しいプログラムを作る (New)、ファイルを開く (Open)のアイコンのみがアクティブになっています。

(図 3.)

ここで「AUTOST」ファイルを開くと、プログラム Window 表示され、図 4 の「AUTOST」ファイルの編集画面となります。

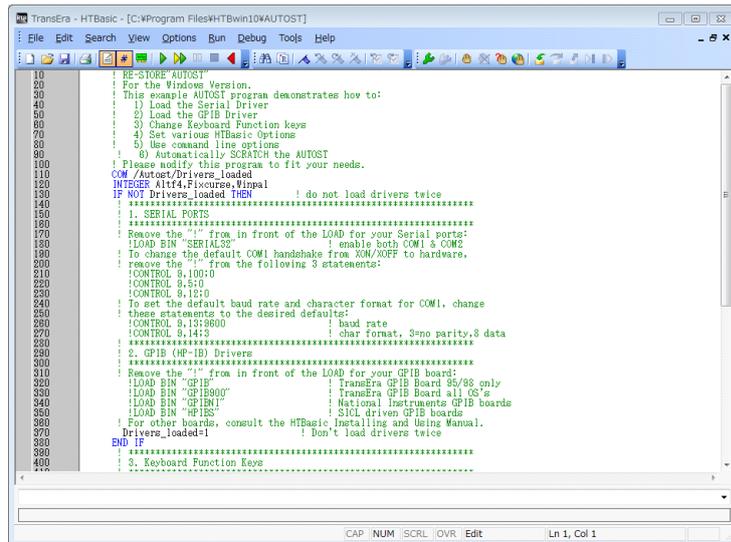
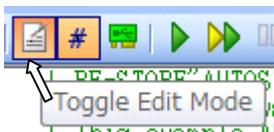


図 4.



アクティブになっているエディター・表示/非表示切り替えアイコン (Toggle Edit Mode)で表示の切替を行います。

(図 5.) 切り替えると図 6. のように表示が変わります。

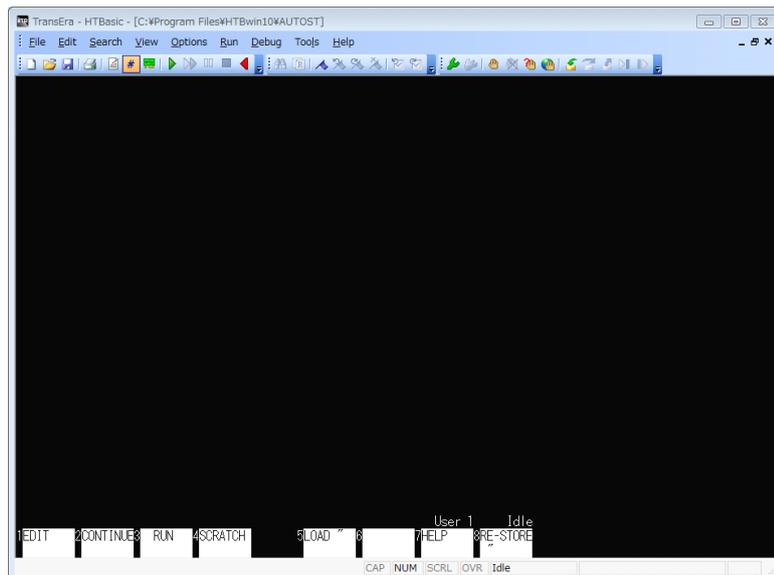
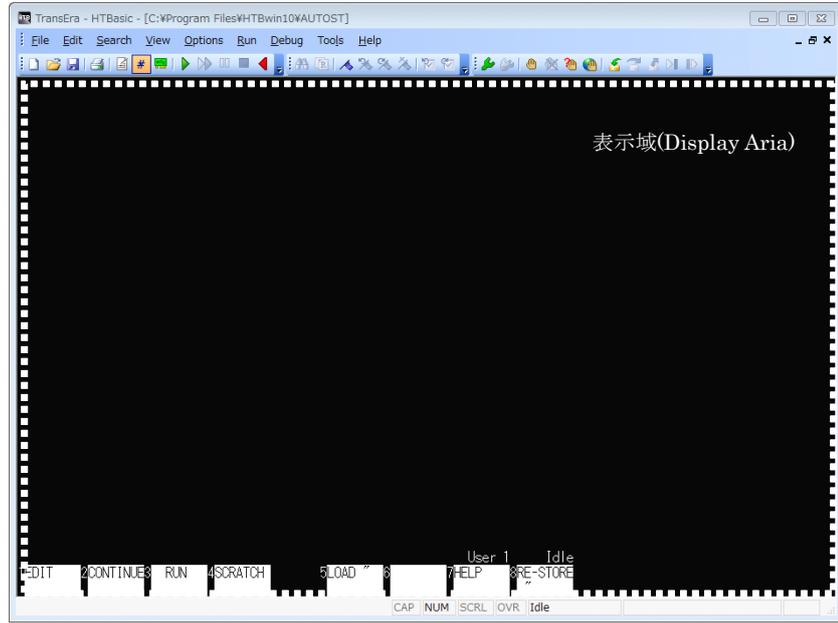


図 6.

3. アプリケーション Window の各要素の名称

タイトルバー(Title Bar) –
メニューバー(menu Bar) –
ツールバー(Tool Bars) –



DISP 域(Display Line) –
メッセージ(Message Line) –
INPUT 域(Input Line 2 行) –
ソフトキー(Soft Keys) –
ステータスバー(Status Bars) –

図 7.

ステータス表示(Status Indicators)

4. アプリケーション Window の操作

HTBasic for Windows は、Microsoft Windows GUI に準拠した、マウスその他のポインティングデバイスで Window の操作ができます。

Window を移動するには、タイトルバーの部分にマウスポインターをおき左ボタンを押したまま、マウスを移動したい場所まで動かし、ボタンを離します。

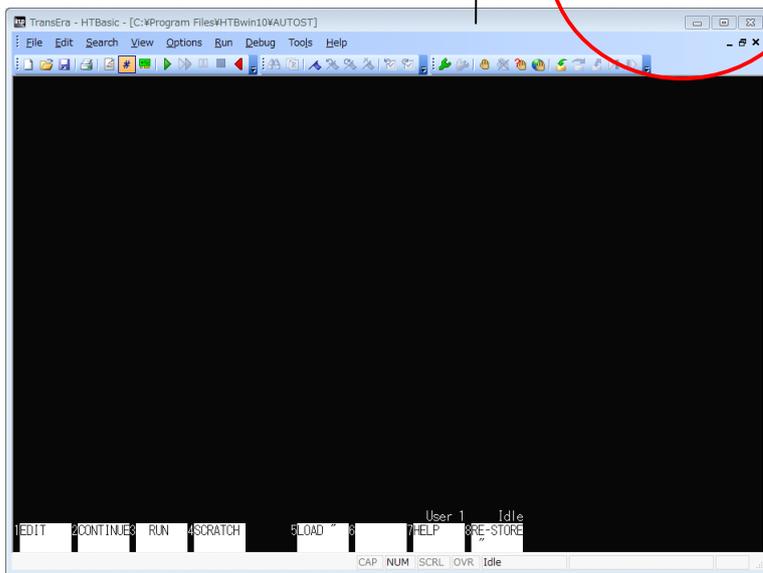
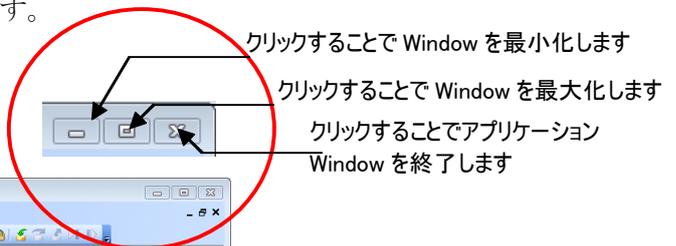


図 8.

横方向に Window のサイズを変更するには、Window の右端にマウスポインターを移動し、左ボタンを押したまま、マウスを移動したい場所まで動かし、ボタンを離します。

縦方向に Window のサイズを変更するには、Window の下端にマウスポインターを移動し、左ボタンを押したまま、マウスを移動したい場所まで動かし、ボタンを離します。

縦/横方向同時に Window のサイズを変更するには、Window の下端/右端にマウスポインターを移動し、左ボタンを押したまま、マウスを移動したい場所まで動かし、ボタンを離します。

5. ツールバー



ツールバーには次の 3 種類があります。

1) コントロール・ツールバー



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

[ファイル操作]

- ① 新規作成(New)
- ② 開く (Open)
- ③ 保存(SAVE/STORE)

[印刷]

- ④ 印刷(Print)

[編集]

- ⑤ 編集モード切り替え(Toggle Edit Mode)
- ⑥ プログラムライン番号、表示/非表示切り替え(Toggle Line Number)
- ⑦ デバイスセットアップ(Device Setup)

Device Setup ダイアログを表示

[実行]

- ⑧ プログラムの実行(RUN Program)
- ⑨ プログラムの続行(Continue)
- ⑩ 一時停止(Pause)
- ⑪ プログラムの停止(Stop)
- ⑫ BASIC のリセット(BASIC Reset)

2) サーチ・ツールバー



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

[検索]

- ① 検索(Find)
- ② 置換(Replace)
- ③ ブックマークのトグル(Toggle Bookmark)
- ④ 前のブックマーク (Previous Bookmark)
- ⑤ 次のブックマーク (Next Bookmark)
- ⑥ 全てのブックマークを破棄 (Remove All Bookmarks)
- ⑦ 前のエラーへ (Go to Previous Error)

⑧次のエラーへ (Go to Next Error)

3)デバッグ・ツールバー



[デバッグ]

- ①デバッグの実行(Debug RUN)
- ②デバッグの続行(Debug Continue)

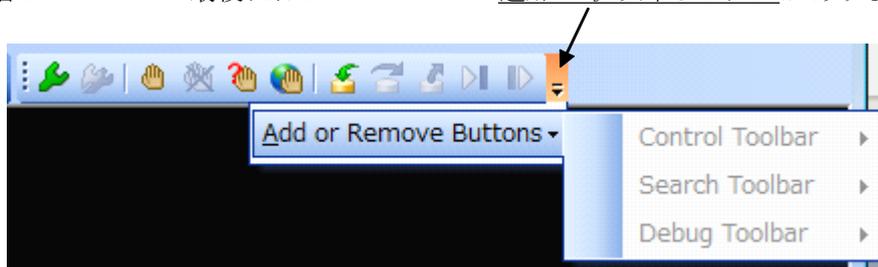
[ブレークポイント]

- ③ブレークポイント使用の切替トグル(Toggle Breakpoint)
- ④全てのブレークポイントを破棄 (Remove All Breakpoint)
- ⑤条件ブレーク (Condition Break)
- ⑥グローバル・ブレーク (Global Break)

[ステップ]

- ⑦ステップ・インツー (Step Into)
- ⑧ステップ・オーバー(Step Over)
- ⑨ステップ・アウト(Step Out)
- ⑩カーソル位置からの実行(Run to Cursor)
- ⑪カーソル位置からの続行(Continue from Cursor)

注) 各ツールバーの最後にはツールバーへの追加・取り外しボタンがあります。



6. GESCAPE コード

HTBasic for Windows では、GUI に関する設定を、ユーザ・プログラムの中から「GESCAPE」を使用してコントロールが可能です。

1)アプリケーション Window

コード	動作
30	Window を画面一杯に伸ばします
31	Window を隠します
32	Window を再表示します
33	子アプリケーション Window の位置/サイズをセットします
34	子アプリケーション Window の位置/サイズを得ます
35	Window をトップに持って来ます
36	スクリーンサイズを得ます
37	タイトルバーの表示/非表示のフラグの値を返します
38	タイトルバーの非表示/再表示します(トグル)
39	ダンプサイズの設定(用紙幅を%で)
41	Window を最小化

2)プログラム親 Window

コード	動作
46	コントロール・ツールバーをオフにします
47	コントロール・ツールバーをオンにします
48	ステータスバーをオフにします
49	ステータスバーをオンにします
50	メイン・ニューバーを取り外します
51	メイン・ニューバーを復帰させます
52	親 Window のボーダーを効かなくします
53	親 Window のボーダーを効くようにします
54	親 Window の最小化ボタンを効かなくします
55	親 Window の最小化ボタンを効くようにします
56	親 Window の最大化ボタンを効かなくします
57	親 Window の最大化ボタンを効くようにします
58	親 Window の終了ボタンを効かなくします
59	親 Window の終了ボタンを効くようにします
60	ブックマーク・ツールバーをオフにします
61	ブックマーク・ツールバーをオンにします
62	デバッグ・ツールバーをオフにします
63	デバッグ・ツールバーをオンにします
64	タイトルバーのファイル名表示をオフにします
65	タイトルバーのファイル名表示をオンにします

3) プログラム子 Window

コード	動作
130	Window を画面一杯に伸ばします
131	Window を隠します
132	Window を再表示します
135	Window をトップに持って来ます
137	タイトルバーの表示/非表示のフラグの値を返します
138	タイトルバーの非表示/再表示します(トグル)
141	Window を最小化
152	子 Window のボーダーを効かなくします
153	子 Window のボーダーを効くようにします

7. 立ち上げ時の Window をカスタマイズ

GESCAPE コードを「AUTOST」に加え、立ち上げ時の Window をカスタマイズします。

例) デフォルトの「AUTOST」の 130 行から以下のように変更します

```

IF NOT Drivers_loaded THEN          ! do not load drivers twice
INTEGER Get4(1:4),Set4(1:4),Get2(1:2),Set1(1:1)
  GESCAPE CRT,152 !Minimize the window
  DATA 80,80,1024,750 !Data for Window Possition & Size : X,Y,W,H
  READ Set4(*)
  GESCAPE CRT,33,Set4(*) ! Set position and size: X,Y,W,H
  GESCAPE CRT,52 !Disable Borders on Parent Window      (53: Enable)
  GESCAPE CRT,153 !Disable Borders on Child Window      (152: Disable)
! GESCAPE CRT,38 !Hide Title Bar                        (Toggle)
  GESCAPE CRT,64 !Filename in titlebar on                (65: Off)
! GESCAPE CRT,51 !Restore Main Menu                      (50: Off)
  GESCAPE CRT,49 !Turn the Status Bar On                 (48: Off)
  GESCAPE CRT,46 !Turn the Control Toolbar Off           (47: On)
  GESCAPE CRT,60 !Turn the Bookmark/Search Toolbar Off  (61: On)
  GESCAPE CRT,62 !Turn the Debug Toolbar Off             (63: On)
  GESCAPE CRT,54 !Disable Minimize button on Parent Window(55: Enable)
  GESCAPE CRT,56 !Disable Maximize button on the Parent Window(57: Enable)

```

使用 PC : HP 8200MT

Intel(R) Core i7 i7-2600 vPro™ プロセッサー (3.40 GHz)

Display 表示解像度 : 1280 x 1024

TBasic アプリケーション Window:

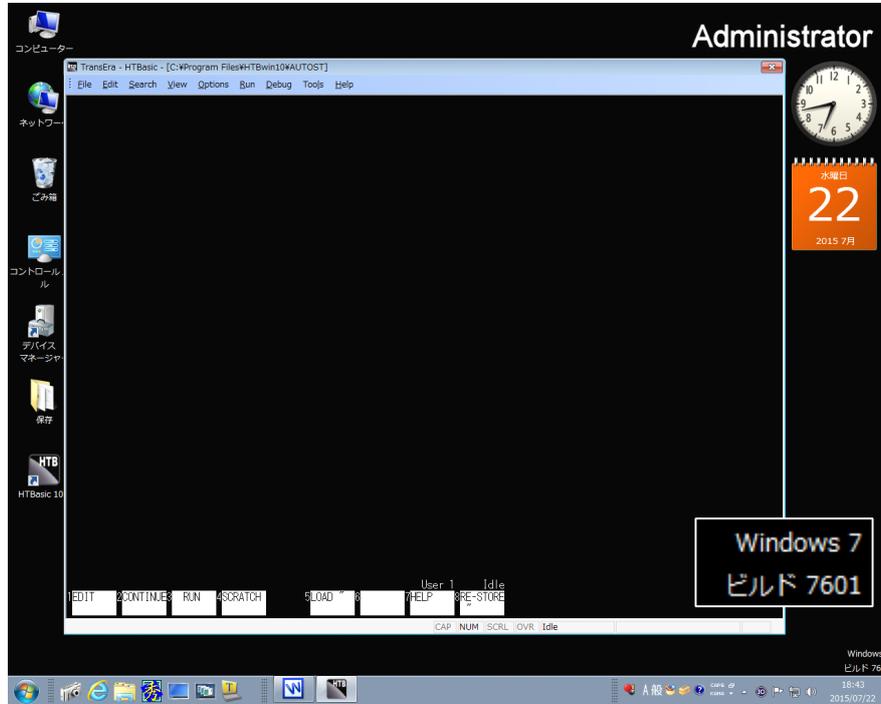
左上隅からの位置 : X=80 Y=80

サイズ : 幅=1024 高さ=750

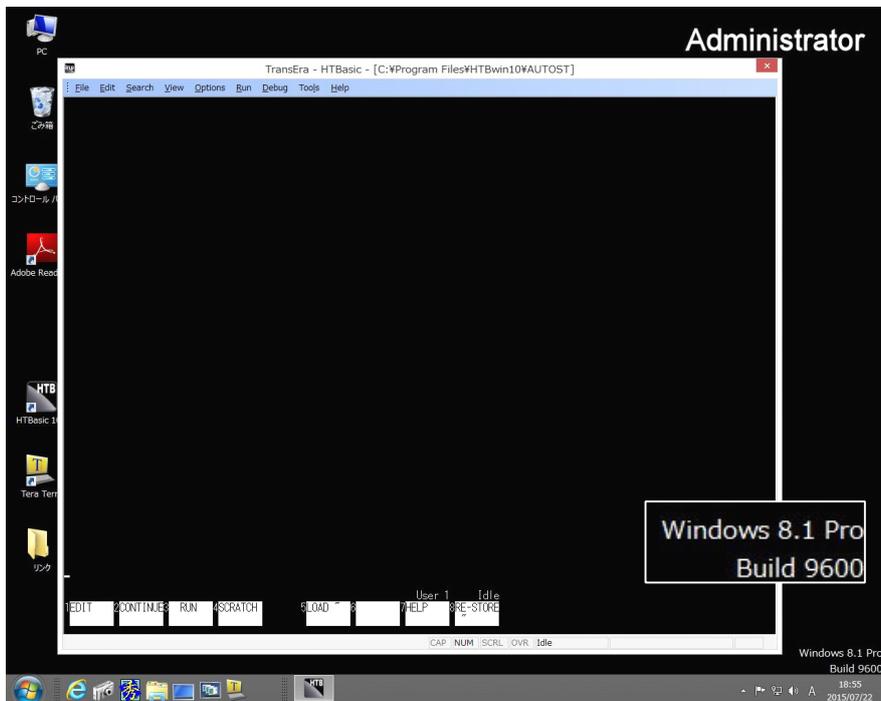
ツールバーアイコン表示： なし

アプリケーション Window： 最大化、最小化ボタンなし

(1) Windows 7 Professional Build 7601 (32bit)



(2) Windows 8.1 Professional Build 9600 (32bit)



以上